

# 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東

コード番号 3928 URL https://mynet.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岩城 農

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 西村 拓也 (TEL) 03-6864-4221

配当支払開始予定日 – 決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無:有(機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益経済		経常	経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年12月期第3四半期	5, 680	△15. 1	311	△19.4	251	△28. 1	198	△38.0	
2024年12月期第3四半期	6, 693	0. 9	385	374. 4	350	378. 8	319	172. 2	

(注)包括利益 2025年12月期第3四半期

200百万円 (△40.7%)

2024年12月期第3四半期

338百万円 (165.3%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	23. 32	-
2024年12月期第3四半期	37. 89	-

<sup>(</sup>注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4, 397	1, 742	36. 7
2024年12月期	4, 840	1, 517	28. 8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,612百万円 2024年12月期 1,394百万円

## 2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2024年12月期	_	0.00	_	0.00	0.00				
2025年12月期		0.00	_						
2025年12月期 (予想)				0.00	0.00				

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上	高	営業	利益	経常	利益	親会社株主に 当期純:		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期(累計)	8, 500	△3.9	312	△27.1	242	△35.4	166	△32. 4	19. 49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:無

新規 一社 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 有②①以外の会計方針の変更: 無③会計上の見積りの変更: 無

④ 修正再表示 :無

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

### (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年12月期3Q	8, 710, 334株	2024年12月期	8, 710, 334株
2025年12月期3Q	157, 973株	2024年12月期	257, 973株
2025年12月期3Q	8, 500, 347株	2024年12月期3Q	8, 437, 090株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.経営成績等の概況」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当四半期の経営成績の概況	2
(2)当四半期の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1)四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループの事業領域である国内ゲームコンテンツ市場は約2.3兆円の規模まで成長し、その中でもモバイルゲームの市場規模は前年比3.2%増の1.7兆円となるなど、国内ゲームコンテンツ市場において中心的な存在となっております(ファミ通ゲーム白書2025より)。

当社グループは、売上成長構造を再構築・再強化することで企業としての成長性を向上するべく、ゲーム事業内の新領域や新規事業の拡大に力を入れております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,680,157千円(前年同期比15.1%減)、営業利益は311,113千円(前年同期比19.4%減)、経常利益は251,753千円(前年同期比28.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は198,195千円(前年同期比38.0%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ①ゲーム事業セグメント

当セグメントにはゲーム事業の「セカンダリー領域」「新領域」と、新規事業の「スポーツDX領域」が含まれます。当第3四半期連結会計期間の「セカンダリー領域」においては、既存タイトルが上期から続く好調を維持し、安定した収益基盤として事業全体を牽引いたしました。また、新たな事業の柱として育成中の「新領域」におきましても、タイトル運営や企画・開発の専門スキルを持つデザイナー、クリエイターといった専門性の高い人材をパートナー企業のタイトル運営チームへ派遣し、開発・運営を支援するサービスが順調に立ち上がっております。今後も、顧客企業のニーズに的確に応えることで、事業の拡大を目指してまいります。

新規事業の「スポーツDX領域」においては、公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(本社:東京都千代田区、チェアマン:野々村 芳和、以下「Jリーグ」)とサポーティングカンパニー契約を締結し、Jリーグ公式のデジタルトレーディングカード×ファンタジースポーツゲーム『J.LEAGUE FANTASY CARD』の開発・運営を担当することが決定いたしました。2026年2月の「明治安田Jリーグ百年構想リーグ」開幕に合わせた正式リリースに先立ち、サービス改善を目的としたクローズド $\beta$ テストの実施やメディア向け説明会も行いました。

以上の結果、売上高は5,295,322千円(前年同期比16.8%減)、営業利益は285,711千円(前年同期比8.7%減)となりました。

### ②異業種事業セグメント

当セグメントには新規事業の「BtoBソリューション(異業種)領域 が含まれます。

当第3四半期連結会計期間においては、顧客への提供価値向上と事業基盤の強化を目的とし、サービス領域の拡大に努めました。主力の戦略コンサルティング事業に加え、当第3四半期連結会計期間より新たにキッティングBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスの提供を開始いたしました。これにより、経営課題の解決に向けた戦略策定から、その実行に必要となるPC等の機材やソフトウェアの導入・設定、納品までをワンストップで支援する体制が整いました。この度の事業領域の拡大を通じて、多様化する顧客ニーズに的確に応えるとともに、新たな収益の柱の構築を着実に進めてまいります。

以上の結果、売上高は444,534千円(前年同期比30.0%増)、営業利益は25,401千円(前年同期比65.2%減)となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### ①資産の部

当四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて443,224千円減少し、4,397,127千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産の減少(前連結会計年度末比297,470千円の減少)などがあったことによるものであります。

### ②負債の部

当四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて668,040千円減少し、2,654,990千円となりました。これは主に、長期借入金の減少(前連結会計年度末比382,200千円の減少)などがあったことによるものであります。

# ③純資産の部

当四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて224,816千円増加し、1,742,137千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加(前連結会計年度末比196,221千円の増加)などがあったことによるものであります。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 <u>:</u> 千円)

		(単位・1円)
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 389, 452	2, 119, 828
売掛金及び契約資産	1, 271, 092	973, 621
未収入金	23, 934	21, 153
未収還付法人税等	6, 956	5, 805
その他	267, 564	226, 682
貸倒引当金	△31,606	△30,000
流動資産合計	3, 927, 392	3, 317, 091
固定資産		
有形固定資産	19, 454	16, 473
無形固定資産		
のれん	133, 386	106, 708
ソフトウエア仮勘定	254, 235	467, 068
その他	172	90
無形固定資産合計	387, 793	573, 867
投資その他の資産		
投資有価証券	245, 759	211, 474
敷金	44, 941	44, 941
長期前払費用	_	19, 708
繰延税金資産	214, 861	213, 421
その他	151	149
投資その他の資産合計	505, 712	489, 695
固定資産合計	912, 960	1, 080, 036
資産合計	4, 840, 352	4, 397, 127

	—————————————————————————————————————	(単位:千円) 当第3四半期連結会計期間
	則連結云計 <del>年</del> 度 (2024年12月31日)	(2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229, 592	176, 815
未払金	240, 455	218, 37
契約負債	89, 167	74, 810
短期借入金	_	50, 20
1年内返済予定の長期借入金	620, 000	645, 400
1年内償還予定の社債	290, 000	290, 000
未払法人税等	26, 522	21, 193
賞与引当金	77, 223	31, 25
その他	254, 825	266, 180
流動負債合計	1, 827, 784	1, 774, 22
固定負債		
長期借入金	800,000	417, 80
社債	680, 000	440, 000
繰延税金負債	15, 247	22, 96
固定負債合計	1, 495, 247	880, 76
負債合計	3, 323, 031	2, 654, 99
純資産の部		
株主資本		
資本金	49, 631	49, 63
資本剰余金	1, 390, 438	1, 377, 563
利益剰余金	15, 604	211, 82
自己株式	△89, 970	△55 <b>,</b> 09
株主資本合計	1, 365, 703	1, 583, 92
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28, 833	28, 56
その他の包括利益累計額合計	28, 833	28, 56
非支配株主持分	122, 784	129, 64
純資産合計	1, 517, 320	1, 742, 13
負債純資産合計	4,840,352	4, 397, 12

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6, 693, 687	5, 680, 157
売上原価	4, 024, 259	3, 124, 630
売上総利益	2, 669, 427	2, 555, 526
販売費及び一般管理費	2, 283, 667	2, 244, 413
営業利益	385, 760	311, 113
営業外収益		
受取利息	1,073	3, 184
為替差益	459	_
法人税等還付加算金	6, 055	_
その他	1, 445	1, 155
営業外収益合計	9, 032	4, 340
営業外費用		
支払利息	10, 738	19, 073
為替差損	_	4, 882
社債利息	2, 384	6, 257
投資事業組合運用損	7, 832	28, 907
支払手数料	23, 500	3, 550
その他	85	1, 029
営業外費用合計	44, 539	63, 700
経常利益	350, 252	251, 753
特別利益		
投資有価証券売却益	28, 800	_
新株予約権戻入益	4, 500	
特別利益合計	33, 300	
税金等調整前四半期純利益	383, 552	251, 753
法人税、住民税及び事業税	43, 578	37, 396
法人税等調整額	1, 164	9, 298
法人税等合計	44, 743	46, 694
四半期純利益	338, 808	205, 059
非支配株主に帰属する四半期純利益	19, 110	6, 863
親会社株主に帰属する四半期純利益	319, 698	198, 195

# (四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		111 1111
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	338, 808	205, 059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△603	△4, 524
その他の包括利益合計	△603	△4, 524
四半期包括利益	338, 205	200, 535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319, 095	193, 671
非支配株主に係る四半期包括利益	19, 110	6, 863

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

### 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セグメント		3田 事体 安石	合計	
	ゲーム事業	異業種事業	計	調整額	口目	
売上高						
外部顧客への売上高	6, 351, 757	341, 929	6, 693, 687	_	6, 693, 687	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10, 500	_	10, 500	△10, 500	_	
<b>=</b> +	6, 362, 257	341, 929	6, 704, 187	△10, 500	6, 693, 687	
セグメント利益	312, 871	72, 889	385, 760	_	385, 760	

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			3H BV 4/5	<b>∧</b> ∋l.
	ゲーム事業	異業種事業	計	調整額	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5, 245, 622	434, 534	5, 680, 157	_	5, 680, 157
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49, 699	10, 000	59, 699	△59, 699	_
<b>∄</b> +	5, 295, 322	444, 534	5, 739, 856	△59, 699	5, 680, 157
セグメント利益	285, 711	25, 401	311, 113	_	311, 113

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

### (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)			
減価償却費	6,605千円	3,062千円			
のれんの償却額	35,677千円	26,677千円			

### (重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

### (会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。